

## クリニカルレベルⅠ研修

### 到達目標

標準的な看護計画に基づき、自立して看護を実践する

※受講対象レベル：現レベル新人(白) 臨床経験の目安は2~3年目

中項目	研修名	ねらい	内容	講師
A	教育・研究 看護記録Ⅰ	1. 看護過程の展開を理解できる 2. NANDA看護診断を理解できる	1. 各種記録の方法 2. SOAPIについて 3. 領域・類・診断概念・看護診断など	診療記録管理委員会 看護部会
	目標管理 目標管理Ⅰ	1. 自己分析の結果をもとに個人目標を設定し、取り組むことができる 2. 定期的に計画実施の評価・修正ができる	1. 現状分析の手法 2. 演習	看護師
B	倫理・接遇 倫理Ⅰ	1. ケアの受け手や周囲の人々の人権を尊重した行動をする 2. 日常の看護提供場面における倫理的ジレンマから、倫理的問題や課題を検討する 3. 倫理問題の所在に気づくと共に、どうすべきかを考え行動できる	1. 倫理的問題と課題 ・倫理原則の理解 ・事例を通して倫理原則の考え方	看護師
C	教育・研究 継続教育Ⅰ	1. 新人看護職員研修について行政から出されたガイドラインを理解できる 2. 学生や新人を温かく受け入れる態度で対応できる 3. 新人看護職員研修の教育体制を理解し、実地指導者のもと新人教育に携わることができる	1. 新人看護職員研修の基本的考え方 2. 指導者の役割、心構え、態度 3. 新人看護師が陥りやすい困難や問題への理解 4. 新人看護職員研修の教育体制	看護師
	安全管理 安全Ⅰ	1. 事故事例から、以下の点を理解する ①ガイドラインやマニュアルの視点から自身の日々の実践で安全を確保する方法 ②安全な看護を実践するための優先順位 ③事故発生時の看護記録(経時記録)	1. 事故発生時の看護記録□危険予知訓練の実施□	医療安全管理者
ナースィングスキル	接遇/コミュニケーション	上手な叱られ方	先輩・上司から叱られた場合の対処方法、後輩を叱る場合の注意点、モチベーションを管理する方法などについて説明する。	
	社会人基礎力	社会人基礎力の基礎	社会人基礎力の「3つの能力と12の能力要素」についての基礎知識を学び、なぜ看護師に社会人基礎力が必要なのかについて理解する。	
	動画視聴 専門領域スキルアップ	災害時の医療と看護(スタッフ編)	災害時にスタッフが担うべき看護とはどのようなものか、国内外で豊富な災害医療経験をもつ講師が、災害時における看護実践や、災害が起こる前に準備できることなど、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などで実際に起こった医療の現実を紹介しながら説明する。	
	専門領域スキルアップ	看護師らしい思考を育む「臨床判断プロセス」とその活用	臨床判断モデルの5つの要素とその関係性について理解し、臨床判断モデルを教育/学習に活用するメリットと方法を学ぶ。	

※ ナースィングスキルの動画は上記から2つ以上選択し視聴してください。  
視聴後、テストを合格するまで実施してください。

※ ナースィングスキルの動画視聴後、ナースィングスキル内にあるアンケートで評価を行ってください。

## クリニカルレベルⅡ研修

### 到達目標

ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する

※受講対象レベル：現レベルⅠ（ブルー） 臨床経験の目安は3～5年目

中項目	研修名	ねらい	内容	講師
A	目標管理 目標管理Ⅱ	1. 自己分析した結果をもとに、看護部目標・部署目標を踏まえた個人目標の設定を行うことができる	1. 目標設定について 2. キャリア開発について 3. 自身が置かれる状況、立ち位置を客観視する	看護師
	教育・研究 継続教育Ⅱ	1. 学習者を理解し、学習者を中心とした指導方法を理解できる 2. 指導者の姿勢・態度心がまえが理解できる	1. 指導者の役割、心構え、姿勢・態度 2. 役割を果たすための基礎知識 3. 事例をもとに指導方法を考える	新人看護職員 教育専従 看護師
B	倫理・接遇 倫理Ⅱ	1. 倫理的ジレンマから倫理的問題や課題を明確にして説明する 2. 日常の看護提供を振り返り、看護業務基準(2021年改定版)や看護師の倫理綱領を用いて、自身の役割や責任を関連付けて理解する 3. 倫理的ジレンマについて、相談行動をとる	1. 看護の社会的責務 ①看護業務基準(2021年改定版)の活用 ②看護者の倫理綱領の活用	看護師
	安全管理 安全Ⅱ	1. 日常の看護提供場面における事故発生のリスクに気づき、解決策を立案する 2. 事件事例を用いて、事故発生の要因を分析し、解決策を立案する 3. 実践の場における安全に関するリスクを予測した問題提起とその対策を提案する 4. 常に療養環境が安全であるか配慮した調整を実施する 5. 暴言・暴力やクレーム等から、発生した要因を分析し対応策を導き出す	1. 事故要因分析の手法 2. 倫理的課題に対するアプローチ ・原則を用いた問題点の整理 ・標準化した枠組みを用いた検討 ・ナラティブ 3. 安全に関わる関係法規(医療保法)	医療安全管理者
ナースキル 動 画 視 聴	特定行為研修のe-ラーニング	申請・未申請の有無にかかわらず、全員受講必須です。		

クリニカルレベルⅢ研修

到達目標

幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する

※受講対象レベル：現レベルⅡ（グリーン） 臨床経験の目安は5年目以上

中項目	研修名	ねらい	内容	講師
A	チーム医療 チームでの協働Ⅲ	1. 多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる	1. 合意形成 2. 交渉術 ①チームでの協働について事例を用いて以下の点から説明する ・多職種の効果的な役割発揮 ・調整方法 ・ケアの目標の共有化 ・役割分担 ②多施設多職種との連携について、事例を用いて以下の点から説明できる ・多施設多職種の役割 ・主体的な調整 ・予測的状況に応じた連携のタイミング ③複雑な状況(例:意思統一の困難等)におけるチームでの協働について事例を用いて以下の点から説明する ・看護情報の説明 ・調整方法 ・ケアの目標の共有化 ・役割分担 ④部署での実践を課題レポート提出	看護師
	目標管理 目標管理Ⅲ	1. 部署目標における自身の役割が理解できる 2. 部署目標を共有し、達成するための行動をスタッフと共有できる	1. 現状分析の手法[復習] 2. 自部署の運営に必要な経営指標 3. 演習 ①SWOT分析の手法を用いて、自部署の現状を、部署の看護管理者と共に分析する ②自部署の現状分析の結果をもとにした課題の明確化 ③自部署の目標設定背景について  ※次年度の目標設定	看護師
B	教育・研究 継続教育Ⅲ	1. 部署の中心的な指導役割を担うことができる 2. 自己理解を深めることができる 3. クリニカルラダー新人、Ⅰ、Ⅱの看護職員に指導的に関わるができる	1. 指導者としての中心的な存在としての役割、心構え、態度 2. 成人学習者の特徴 3. 自己理解・他者理解 4. 事例を用いた指導方法の検討	新人看護職員 教育専従 看護師
C	倫理・接遇 倫理Ⅲ・Ⅳ	1. 倫理的問題や課題のある状況において、倫理的問題や課題の顕在化を図り、適切なリソースの活用や相談行動・コンサルテーションを実施し、記録する 2. 倫理的問題や課題について、検討するアプローチ方法を用いて、チームで検討する	1. 倫理的課題に対するアプローチ ・原則を用いた問題点の整理 ・標準化した枠組みを用いた検討 ・ナラティブ	看護顧問
ナースキルゲ	動画視聴 特定行為研修のe-ラーニング	申請・未申請の有無にかかわらず、全員受講必須です。		

## クリニカルレベルⅣ研修

### 到達目標

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する

※受講対象レベル：現レベルⅢ（オレンジ） 臨床経験の目安は7年以上

中項目	研修名	ねらい	内容	講師
A	教育・研究 継続教育Ⅳ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自部署の教育計画を理解し、指導の中心的役割を担うことができる</li> <li>2. 実地指導者への支援ができる</li> <li>3. 自部署の教育体制の課題や問題点を導き出すことができる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育担当者の役割、ロールモデルとしての姿勢と態度</li> <li>2. 事例をもとに指導方法や関わり方を考える</li> <li>3. 自部署の課題を考える</li> </ol>	新人看護職員 教育専従 看護師
B	倫理・接遇 倫理Ⅲ・Ⅳ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 倫理的問題や課題のある状況において、倫理的問題や課題の顕在化を図り、適切なリソースの活用や相談行動・コンサルテーションを実施し、記録する</li> <li>2. 倫理的問題や課題について、検討するアプローチ方法を用いて、チームで検討する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 倫理的問題に対するアプローチ <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則を用いた問題点の整理</li> <li>・標準化した枠組みを用いた検討</li> <li>・ナラティブ</li> </ul> </li> </ol>	看護顧問
C	実践報告 (目標管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今年度の自部署の取り組みを聴講して、情報共有をする</li> <li>2. 自部署の現状分析の結果をもとに明らかにした課題に対する目標に沿って、看護管理者の助言を受けながら主体的に取り組むことができる</li> </ol>	各部署のプレゼンテーションの聴講 ＊ラダー認定申請者は全部署の発表を聴講する ＊現クリニカルレベルⅣ（ピンクシルバー・ピンクゴールド）はポイント換算や各部署の勤務状況によって聴講する ＊途中出席・途中退席者は研修参加確認印を押さない ＊MyWebに発表スライドを投稿するので、不参加者は確認する	無
D	実践能力の向上	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践することができる</li> </ol>	クリニカルラダーレベルカテゴリー 大項目：看護実践能力 中項目：ニーズをとらえる力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力 大項目：組織的役割遂行能力 中項目：目標管理、業務管理、物品管理、安全管理、感染管理、災害・防災管理、薬剤管理、倫理・接遇、自己管理 大項目：自己教育・研究能力 中項目：教育・研究 ※各カテゴリーごとに習得しておくべき内容	人材看護部会主催のその他研修、院内で行われる研修、埼玉県看護協会等の外部研修に参加とすること ＊「受講証明書等」の受講や活動の証明できるものを提出すること
ナースィング	動画視聴	特定行為研修のe-ラーニング	申請・未申請の有無にかかわらず、全員受講必須です。	

## クリニカルレベルⅣ認定後

※対象レベル：現レベルⅣ（ピンクシルバー・ピンクゴールド）  
臨床経験の目安：8年以上

ラダーレベルⅣの認定後は、各々でマネジメントレベルや各専門分野でのスペシャリスト等、個々のキャリア開発に向けた自己研鑽が必要になります。

- ①年度末に提示されるポイント換算表に基づき、必要なポイント数の獲得で、クリニカルレベルⅣ（ピンクシルバー）→クリニカルレベルⅣ（ピンクゴールド）となります。以降は、各自で年間に受けた教育実績を毎年提出し、必要なポイント獲得と維持を行っていくことが必須です。（＊「受講証明書等」の受講や活動の証明できるものを提出すること）
- ②上記、クリニカルレベルⅣ研修同様に、特定行為研修のe-ラーニング受講については、毎年受講が必須となります。

マネジメントレベル I 研修

到達目標

I : 自部署の看護管理者とともに看護管理を実施できる

中項目	研修名	ねらい	内容	講師
A	教育・研究	未定	調整中	調整中
B	実践報告	1. 今年度の自部署の取り組みを発表して、情報を共有する	各部署のプレゼンテーション * ラダー認定申請者は全部署の発表を聴講する * 途中出席・途中退席者は研修参加確認印を押さない * MyWebに発表スライドを投稿するので、不参加者は確認する	無
C	看護管理	1. 社会・看護の動向をとらえ、看護管理を実践できる	看護マネジメントラダーカテゴリー 大項目：概念化能力 ・組織経営管理 ・人事・労務管理 ・人材育成 ・安全管理 ・自己教育 大項目：対人的能力 大項目：専門的能力  ※各カテゴリーごとに習得しておくべき内容	上尾中央医科グループ看護本部の主催する研修や、埼玉県看護協会等の看護管理に関する外部研修を置き換えとする。 * 申請の有無にかかわらず、1回/年以上の受講を行い自己研鑽する  *「受講証明書等」の受講や活動の証明できるものを提出すること

※ ナーシングスキル・特定行為研修e-ラーニング動画視聴について  
マネジメントレベルに関しては必須研修は設けていません。積極的に研修受講し、自己研鑽することが求められます。

マネジメントレベルⅡ・Ⅲ研修

到達目標

Ⅱ：自部署の看護管理を実践できる  
Ⅲ：トップマネジメントを担う一員として  
看護管理を実践できる

中項目	研修名	ねらい	内容	講師
A	教育・研究 未定	調整中	調整中	調整中
B	実践報告	1. 今年度の自部署の取り組みを発表して、情報を共有する	各部署のプレゼンテーション * ラダー認定申請者は全部署の発表を聴講する * 途中出席・途中退席者は研修参加確認印を押さない * MyWebに発表スライドを投稿するので、不参加者は確認する	無
C	看護管理	1. 社会・看護の動向をとらえ、看護管理を実践できる	看護マネジメントラダーカテゴリー 大項目：概念化能力 ・組織経営管理 ・人事・労務管理 ・人材育成 ・安全管理 ・自己教育 大項目：対人的能力 大項目：専門的能力  ※各カテゴリーごとに習得しておくべき内容	上尾中央医科グループ看護本部の主催する研修や、埼玉県看護協会等の看護管理に関する外部研修を置き換えとする。 * 申請の有無にかかわらず、1回/年以上の受講を行い自己研鑽する  *「受講証明書等」の受講や活動の証明できるものを提出すること

※ ナーシングスキル・特定行為研修e-ラーニング動画視聴について

マネジメントレベルに関しては必須研修は設けていません。積極的に研修受講し、自己研鑽することが求められます。

## 看護補助者研修

### 到達目標

- ・急性期病院における看護補助の役割を理解し、業務に活かすことができる。
- ・看護師の指示・指導を受けながら基本的な看護補助業務を安全に遂行できる。

研修	No.	研修名	ねらい	内容	講師
A	1	看護補助者の業務	急性期病院における看護補助者の役割を理解し、業務に活かすことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療制度の概要</li> <li>・病院組織とチーム医療</li> <li>・チーム医療における看護師/看護補助者の役割</li> <li>・看護補助者の業務</li> <li>・看護補助者の業務上の責務</li> <li>・看護補助者に求められる倫理</li> <li>・看護補助者業務における労働安全衛生</li> </ul>	補助者部会担当 看護副部長
	2	医療安全について	医療事故を起こさないための注意点と対策が考えられる	看護補助者業務における医療安全	医療安全管理者
	3	感染対策について	病院内での感染を予防するための基本を理解する	標準予防策の概念、手指衛生の方法、个人防护具の着脱・注意点	感染管理認定看護師
	4	日常生活に関わる業務	看護師の指示・指導を受けながら基本的な看護補助業務を安全に遂行できる	日常生活援助について業務マニュアルを使用し、業務範囲、実施手順、留意事項の内容	看護部補助者部会担当 看護師
B	5	個人情報保護	守秘義務・個人情報についての知識確認	個人情報保護知識確認テスト	文書管理課
C	6	オムツのあて方	正しいアセスメントができ、正しくオムツが使用できる	排泄に関わる知識について適切なオムツのあて方について	オムツメーカー担当者

※新人補助者研修受講者は除く

新人看護補助者研修

到達目標

・急性期病院における看護補助の役割を理解し、業務に活かすことができる。

研修	形式	研修名	ねらい	内容	講師
1	講義	病院・看護部の概要	病院・看護部の組織と機能を理解する	病院・看護部組織と機能 当院の医療・看護の現状、看護体制	看護管理室 看護部長
2	講義	目標管理	目標管理の概要を理解する	目標管理とは 目標の考え方	看護管理室 看護副部長
3	講義	教育システム	看護部の教育システムを理解する	当院の教育システム、ラダー別研修、院内研修	看護管理室 看護副部長
4	講義	医療安全・患者安全管理①		患者安全対策、安全管理報告書、インシデント傾向、ハラスメント	医療安全管理者
5	講義	災害看護	災害時の看護師の役割 災害拠点病院の役割 当院の災害時の対応を理解する	災害時の看護士の役割、災害拠点病院の役割、災害時の対応等	救命処置委員会看護部会 救急看護認定看護師
6	講義	部門別時研修		ZOOM	本部主催
7	講義	医療安全について		医療安全について	医療安全管理者
8	講義・演習	移乗・移送 (車椅子・ストレッチャー) 体位変換	歩行が困難または歩行が許可されていない場合に、目的の場所へ安全・安楽に移送する方法が理解できる 体の向きを変えて、圧迫や苦痛を緩和する ・排泄、清潔保持などで必要な体位をとる方法が理解できる	ベッドから車椅子、車椅子からベッド、ポータブルトイレへの移動方法 車椅子の移送方法 体位変換の方法・注意点・看護師への報告の方法	リハビリテーション技術科 理学療法士
9	講義・演習	感染管理① 標準予防策	病院内での感染を予防するための基本を理解する	標準予防策の概念、手指衛生の方法、個人防護具の着脱・注意点	感染管理認定看護師
10	講義	看護補助者の業務	急性期病院における看護補助者の役割を理解し、業務に活かすことができる	・医療制度の概要 ・病院組織とチーム医療 ・チーム医療における看護師/看護補助者の役割 ・看護補助者の業務 ・看護補助者の業務上の責務 ・看護補助者に求められる倫理	看護補助者部会担当 看護管理室 看護副部長
11	講義・演習	ベッドメイキング 臥床患者のシーツ交換	安全で安楽な療養環境を提供する方法を理解する	シーツ、包布、ピローなどの取扱方法 臥床患者シーツ交換の方法・注意点・看護師への報告の方法	看護部補助者部会担当 看護師
12	講義	院内探索	院内各部門の場所を把握する	院内の部署を知る	補助者部会 クラーク部会担当 看護副部長
13	講義	酸素ボンベの取扱い	酸素について 配管端末器(アウトレット)について 生命維持管理装置の操作及び保守点検の業務に携わる臨床工学技士(ME)が見た患者の移動・環境整備等に際しての留意点	・酸素の性質や酸素ボンベの取り扱い方、保管方法について *二酸化炭素、窒素との違い *流量計の選択と取り扱い方等 *アウトレットの種類とはずし方 誤接続防止について *ボンベとアウトレットの色の違い *高圧酸素治療室内への持ち込み物品 *確認不足、知識不足が原因の事故事例	臨床工学科 臨床工学士
14	講義・演習	排泄介助 (床上排泄・ポータブルトイレ) 全身清拭・陰部洗浄・寝衣交換 整容 (モーニングケア・アイブニングケア・髭剃り)	ベッド上で安全に気持ちよく排泄ができるよう援助する方法が理解できる ポータブルトイレを使用し、安全に気持ちよく排泄ができるよう援助する方法が理解できる 清潔ケアの方法が理解できる 寝衣交換の方法が理解できる 各部位の清潔を保ち、爽快感や満足感を得る方法が理解できる	排泄介助の方法・注意点・看護師への報告の方法 全身清拭・陰部洗浄の方法・注意点・看護師への報告の方法 寝衣交換の方法・注意点・看護師への報告の方法 整容の方法・注意点・看護師への報告の方法	業務改善委員会看護部会 看護師
15	講義・演習	口腔ケア (義歯を含む)	口腔内を清潔に保ち、爽快感をもたらす方法が理解できる	口腔ケアの必要性について 口腔ケアの方法	口腔ケアサポート 看護部会 看護師
16	講義・演習	オムツのあて方	正しいアセスメントができ、正しくオムツが使用できる	適切なオムツのあて方	褥瘡管理科 看護師
17	講義・演習	BLS	一次救命の知識と技術を理解する	BLS講習	救命処置委員会看護部会 救急看護認定看護師
18	講義	入職後交流会	同期との情報共有、不安の軽減、職場への理解と人間関係づくり	テーマに合わせた座談会	看護部補助者部会 クラーク部会担当 看護副部長
19	動画講義	環境整備	安全で快適な療養生活が送れるように環境を整える方法が理解できる	環境整備の必要性方法・注意点	理解度確認テスト実施
20	動画講義	配膳・下膳	誤配膳を防ぎ、適切に食事を提供する方法が理解できる	配膳下膳の方法・注意点・看護師への報告の方法	理解度確認テスト実施
21	動画講義	食事介助	誤嚥(飲食物が気管に入ること)に注意し、安全に楽しく食事ができるように援助する方法が理解できる	食事介助の方法・注意点・看護師への報告の方法	理解度確認テスト実施
22	動画講義	洗髪(ケリーバンド・洗髪車・洗髪台)	頭皮、髪の清潔を保ち、爽快感を得る 血液の循環を促進し、新陳代謝を高める方法が理解できる	洗髪の方法・注意点・看護師への報告の方法	理解度確認テスト実施
23	動画講義	入浴・シャワー浴介助	体の清潔を保ち、爽快感を得る。 血液の循環を促進し、新陳代謝を高める方法が理解できる	入浴、シャワー浴の方法・注意点・看護師への報告の方法	理解度確認テスト実施



## 看護補助者（クラーク）研修

### 到達目標

- ・急性期病院における看護補助の役割を理解し、業務に活かすことができる。
- ・看護師の指示・指導を受けながら基本的な看護補助業務を安全に遂行できる。

研修	No.	研修名	ねらい	内容	講師
A	1	看護補助者の業務	急性期病院における看護補助者の役割を理解し、業務に活かすことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療制度の概要</li> <li>・病院組織とチーム医療</li> <li>・チーム医療における看護師/看護補助者の役割</li> <li>・看護補助者の業務</li> <li>・看護補助者の業務上の責務</li> <li>・看護補助者に求められる倫理</li> <li>・看護補助者業務における労働安全衛生</li> </ul>	補助者部会担当 看護副部長
	2	医療安全について	医療事故を起こさないための注意点と対策が考えられる	看護補助者業務における医療安全	医療安全管理者
	3	感染対策について	病院内での感染を予防するための基本を理解する	標準予防策の概念、手指衛生の方法、個人防護具の着脱・注意点	感染管理認定 看護師
	4	日常生活に関わる業務	看護師の指示・指導を受けながら基本的な看護補助業務を安全に遂行できる	日常生活援助について業務マニュアルを使用し、業務範囲、実施手順、留意事項の内容	看護部補助者部会担当 看護師
B	5	個人情報保護	守秘義務・個人情報についての知識確認	個人情報保護知識 確認テスト	文書管理課
C	6	E-JIMU	個々の経験年数に応じたコンテンツを選び受講	2回/年	なし
D	7	クレーム対応	接遇のマナースキルを身に付け、患者・面会者への対応方法が理解でき、行動できる	基本的対応 対応のポイント	インストラクター部会 部会長

※新人補助者(クラーク)研修受講者は除く

新人看護補助者（クラーク）研修

**到達目標**  
 ・急性期病院における看護補助の役割を理解し、  
 業務に活かすことが出来る。

研修	形式	研修名	ねらい	内容	講師
1	講義	事務部研修 社会人総務人医療人として①	社会人、組織人、医療人としての立場を認識する	3年目の事務職員より、社会人2年間を経験して学んだ社会人、組織人、医療人としての心得	地域連携課
2	講義	事務部研修 ビジネスマナー①	周囲との良好な人間関係を築くために、社会人としての基本行動を身につける	あいさつ、身だしなみ、電話対応、敬語、訪問者対応（名刺交換）	事務部会
3	講義	事務部研修 社会人総務人医療人として②	社会人、組織人、医療人としての認識、コンプライアンス遵守の必要性を認識する	社会人、組織人、医療人としての心得	事務管理室
4	講義	事務部研修 部署紹介	事務部各部署の業務内容等を知る	事務部各部署の紹介	総務課
5	講義	事務部研修 仕事の仕方について①	仕事に取り組む姿勢と進め方のスキルを身につける	仕事の進め方、PDCA報告、連絡、相談	事務部会
6	講義	病院・看護部の概要	病院・看護部の組織と機能を理解する	病院・看護部組織と機能 当院の医療・看護の現状、看護体制	看護管理室 看護部長
7	講義	目標管理	目標管理の概要を理解する	目標管理とは 目標の考え方	看護管理室 看護副部長
8	講義	教育システム	看護部の教育システムを理解する	当院の教育システム、ラダー別研修、院内研修	看護管理室 看護副部長
9	講義	医療安全・患者安全管理①	医療安全の基礎、院内の患者安全管理体制を理解する	患者安全対策、安全管理報告書、インシデント傾向、ハラスメント	医療安全管理者
10	講義	災害看護	災害時の看護師の役割 災害拠点病院の役割 当院の災害時の対応を理解する	災害時の看護師の役割、災害拠点病院の役割、災害時の対応等	救急看護認定看護師
11	講義	部門別研修		ZOOM	本部主催
12	講義	医療安全について	医療事故を起こさないための注意点と対策が考えられる患者確認	医療安全について	医療安全管理者
13	講義	事務部研修 倫理について	医療における倫理を考える 医療従事者として、病院事務職員として、必要な倫理を身近に学ぶ	倫理と道徳の違い 倫理全般、生命倫理 医療現場での倫理的な問題	事務管理室
14	講義	事務部研修 ビジネスマナー②	周囲との良好な人間関係を築くために、社会人としての基本行動を身につける	あいさつ、身だしなみ、電話対応、敬語、訪問者対応（名刺交換）	事務部会
15	講義・演習	感染管理① 標準予防策	病院内での感染を予防するための基本を理解する	標準予防策の概念、手指衛生の方法、個人防護具の着脱・注意点	感染管理認定看護師
16	講義	事務部研修 仕事の仕方について②	仕事に取り組む姿勢と進め方のスキルを身につける	仕事の段取り、指示の受け方、メモの取り方報告、連絡、相談	事務部会
17	講義	看護補助者の業務	急性期病院における看護補助者の役割を理解し、業務に活かすことができる	・医療制度の概要 ・病院組織とチーム医療 ・チーム医療における看護師/看護補助者の役割 ・看護補助者の業務 ・看護補助者の業務上の責務 ・看護補助者に求められる倫理	看護補助者部会担当 看護管理室 看護副部長
18	講義	院内探索	院内各部門の場所を把握する	院内の部署を知る	看護部補助者部会 クラーク部会担当 看護副部長
19	講義・演習	BLS	一次救命の知識と技術を理解する	BLS講習	救命処置委員会看護部会 救急看護認定看護師
20	講義	入職後交流会	同期との情報共有、不安の軽減、職場への理解と人間関係づくり	テーマに合わせた座談会	看護部補助者部会 クラーク部会担当 看護副部長

## 新人DA研修

### 到達目標

・急性期病院における医師事務作業補助者の役割を理解し、業務に活かすことが出来る。

研修	形式	研修名	ねらい	内容	講師
1	講義	事務部研修 社会人組織人医療人として①	社会人、組織人、医療人としての立場を認識する	3年目の事務職員より、社会人2年間を経験して学んだ社会人、組織人、医療人としての心得	地域連携課
2	講義	事務部研修 ビジネスマナー①	周囲との良好な人間関係を築くために、社会人としての基本行動を身につける	あいさつ、身だしなみ、電話対応、敬語、訪問者対応(名刺交換)	事務部会
3	講義	事務部研修 社会人組織人医療人として②	社会人、組織人、医療人としての認識、コンプライアンス遵守の必要性を認識する	社会人、組織人、医療人としての心得	事務管理室
4	講義	事務部研修 部署紹介	事務部各部署の業務内容等を知る	事務部各部署の紹介	総務課
5	講義	事務部研修 仕事の仕方について①	仕事に取り組む姿勢と進め方のスキルを身につける	仕事の進め方、PDCA報告、連絡、相談	事務部会
6	講義	病院・看護部の概要	病院・看護部の組織と機能を理解する	病院・看護部組織と機能 当院の医療・看護の現状、看護体制	看護管理室 看護部長
7	講義	目標管理	目標管理の概要を理解する	目標管理とは 目標の考え方	看護管理室 看護副部長
8	講義	教育システム	看護部の教育システムを理解する	当院の教育システム、ラダー別研修、院内研修	看護管理室 看護副部長
9	講義	医療安全・患者安全管理①	医療安全の基礎、院内の患者安全管理体制を理解する	医療安全の概要、患者安全対策、ハラスメント他	医療安全管理者
10	講義	災害看護	災害時の看護師の役割 災害拠点病院の役割 当院の災害時の対応を理解する	災害時の看護師の役割、災害拠点病院の役割、災害時の対応等	救急看護認定看護師
11	講義	部門別時研修		ZOOM	本部主催
12	講義	医療安全について	医療事故を起こさないための注意点と対策が考えられる患者確認	医療安全について	医療安全管理者
13	講義	事務部研修 倫理について	医療における倫理を考える 医療従事者として、病院事務職員として、必要な倫理を身近に学ぶ	倫理と道徳の違い 倫理全般、生命倫理 医療現場での倫理的な問題	事務管理室
14	講義	事務部研修 ビジネスマナー②	周囲との良好な人間関係を築くために、社会人としての基本行動を身につける	あいさつ、身だしなみ、電話対応、敬語、訪問者対応(名刺交換)	事務部会
15	講義・演習	感染管理① 標準予防策	病院内での感染を予防するための基本を理解する	標準予防策の概念、手指衛生の方法、個人防護具の着脱・注意点	感染管理認定看護師
16	講義	事務部研修 仕事の仕方について②	仕事に取り組む姿勢と進め方のスキルを身につける	仕事の段取り、指示の受け方、メモの取り方報告、連絡、相談	事務部会
17	講義・演習	BLS	一次救命の知識と技術を理解する	BLS講習	救命処置委員会看護部会 救急看護認定看護師
18	講義	入職後交流会	同期との情報共有、不安の軽減、職場への理解と人間関係づくり	テーマに合わせた座談会	看護部補助者部会 クラーク部会担当 看護副部長
19	講義・演習	32時間研修			

## 新人歯科衛生士研修

### 到達目標

・急性期病院における歯科衛生士の役割を理解し、業務に活かすことが出来る。

研修	形式	研修名	ねらい	内容	講師
1	講義	事務部研修 社会人組織人医療人として①	社会人、組織人、医療人としての立場を認識する	3年目の事務職員より、社会人2年間を経験して学んだ社会人、組織人、医療人としての心得7	地域連携課
2	講義	事務部研修 ビジネスマナー①	周囲との良好な人間関係を築くために、社会人としての基本行動を身につける	あいさつ、身だしなみ、電話対応、敬語、訪問者対応(名刺交換)	事務部会
3	講義	事務部研修 社会人組織人医療人として②	社会人、組織人、医療人としての認識、コンプライアンス遵守の必要性を認識する	社会人、組織人、医療人としての心得	事務管理室
4	講義	事務部研修 部署紹介	事務部各部署の業務内容等を知る	事務部各部署の紹介	総務課
5	講義	事務部研修 仕事の仕方について①	仕事に取り組む姿勢と進め方のスキルを身につける	仕事の進め方、PDCA報告、連絡、相談	事務部会
6	講義	病院・看護部の概要	病院・看護部の組織と機能を理解する	病院・看護部組織と機能 当院の医療・看護の現状、看護体制	看護管理室 看護部長
7	講義	目標管理	目標管理の概要を理解する	目標管理とは 目標の考え方	看護管理室 看護副部長
8	講義	教育システム	看護部の教育システムを理解する	当院の教育システム、ラダー別研修、院内研修	看護管理室 看護副部長
9	講義	医療安全・患者安全管理①	医療安全の基礎、院内の患者安全管理体制を理解する	医療安全の概要、患者安全対策、ハラスメント他	医療安全管理者
10	講義	災害看護	災害時の看護師の役割 災害拠点病院の役割 当院の災害時の対応を理解する	災害時の看護師の役割、災害拠点病院の役割、災害時の対応等	救急看護認定看護師
11	講義	部門別時研修		ZOOM	本部主催
12	講義	医療安全について	医療事故を起こさないための注意点と対策が考えられる患者確認	医療安全について	医療安全管理者
13	講義	事務部研修 倫理について	医療における倫理を考える 医療従事者として、病院事務職員として、必要な倫理を身近に学ぶ	倫理と道徳の違い 倫理全般、生命倫理 医療現場での倫理的な問題	事務管理室
14	講義	事務部研修 ビジネスマナー②	周囲との良好な人間関係を築くために、社会人としての基本行動を身につける	あいさつ、身だしなみ、電話対応、敬語、訪問者対応(名刺交換)	事務部会
15	講義・演習	感染管理① 標準予防策	病院内での感染を予防するための基本を理解する	標準予防策の概念、手指衛生の方法、個人防護具の着脱・注意点	感染管理認定看護師
16	講義	事務部研修 仕事の仕方について②	仕事に取り組む姿勢と進め方のスキルを身につける	仕事の段取り、指示の受け方、メモの取り方報告、連絡、相談	事務部会
17	講義	酸素ポンベの取扱い	酸素について 配管端末器(アウトレット)について 生命維持管理装置の操作及び保守点検の業務に携わる臨床工学技士(ME)が見た患者の移動・環境整備等に際しての留意点	・酸素の性質や酸素ポンベの取り扱い方、保管方法について * 二酸化炭素、窒素との違い * 流量計の選択と取り扱い方等 ・アウトレットの種類とはずし方 誤接続防止について * ポンベとアウトレットの色の違い ・高圧酸素治療室内への持ち込み物品 * 確認不足、知識不足が原因の事故事例	臨床工学科 臨床工学士
18	講義・演習	BLS	一次救命の知識と技術を理解する	BLS講習	救命処置委員会看護部会 救急看護認定看護師
19	講義	入職後交流会	同期との情報共有、不安の軽減、職場への理解と人間関係づくり	テーマに合わせた座談会	看護部補助者部会 クラーク部会担当 看護副部長

## その他研修

研修	研修名	対象	伝達	ねらい	内容	講師
A	看護研究【概要】	Ⅲ以上	無	<ol style="list-style-type: none"> <li>看護研究の基礎知識を学ぶ</li> <li>指導者としての看護研究の進め方を学ぶ</li> <li>看護研究チームに対して指導的に関わることができる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>看護研究に必要な基本的知識</li> <li>看護研究の進め方</li> <li>看護研究指導のプロセス</li> <li>人材育成委員会看護部会看護研究発表会ガイダンス</li> </ol>	看護師
				※各部署、看護研究指導者を選出する 参加対象部署：2024年度看護研究開始部署は必須、対象外部部署は任意		
B	看護研究発表会	全	無	看護研究発表から得られた知識を看護実践の場に活かす	2024年度院内看護研究発表部署の研究発表・聴講	なし
C	ディベート研修	全	無	<ol style="list-style-type: none"> <li>ディベートとは</li> <li>議論過程の中で、理解力、分析力、構成力、伝達力を学び、論理的思考を養う</li> </ol>	ディベート研修・討論会	人材育成委員会 看護部会 オブザーバー